TOPICS 2 平成24年度の重点事業を振り返って

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

本会では、平成24年度、中央会活動ビジョンにある『強い組合　強い企業づくり』の更なる推進のため、会員組合のニーズに応え、県内中小企業の振興を目的に様々な事業を実施しました。

本号では、平成24年度に実施した事業の概要及び成果をご紹介します。

Ⅰ　組合活力向上事業

組合及び組合員企業が抱えている課題等について、必要に応じて専門家とともに集中的な支援を行いながらその課題解決を図り、組合活力の向上と組合員企業の経営力の強化等に結びつけることを目的に16組合を対象に実施しました。実施した組合の一例を紹介します。

【あきた不動産事業協同組合】

組合事業の中核となる「空き家」及び「空き地」の維持管理に関する共同受注事業がより効率的・効果的に実施できるよう事業運営スキームの確立と実施体制の構築を目的に事業を展開しました。

具体的には、研修会を4回開催し、その成果として「空家（空地）管理事業基本計画」をはじめとする共同受注事業運営スキームを構築したほか、共同受注事業の案内パンフレットを作成し、平成25年2月に組合主催の不動産フェアで来場者へ配布することができました。

また、今後目標としている「公営住宅の維持管理業務」についてもノウハウを習得し、指定管理業者としての受注へと繋げていくことにしております。

【研修会の様子】

Ⅱ　DC等対応観光産業懇談会

今春のスーパーこまちの運転開始や平成25年秋の秋田デスティネーションキャンペーン（DC）並びに平成26年の国民文化祭の開催を、本県の観光産業にとって最大のビジネスチャンスと捉え、観光関連の会員組合等各種団体に参集頂き、観光関連施策に関する意見・要望を吸い上げるための懇談会を開催しました。

2回の懇談会を通じて、秋田DCや国民文化祭の開催概要を観光関連組合へ情報を提供するとともに、各組合の取り組みや観光関連施策等に関する意見交換により、観光・物産等に対する要望等をまとめました。

また、第3回目として「『あきた』を売り込むシンポジウム」を開催し、講話及びパネルディスカッションを行い、観光関連組合の取り組み内容を発表するとともに、懇談会で出された意見等は行政等への要望・提言を行い、今後のイベントに結びつけていくことにしております。

【『あきた』を売り込むシンポジウムの様子】

Ⅲ　青年部研究会事業

将来の組合運営を担う若手経営者の人材育成を図ることを目的に、今年度は4組合青年部を対象に、企業経営の手法や技術の習得を目的とした研究会を実施しました。

実施した青年部から一例を紹介します。

【秋田県自動車解体処理協同組合青年部】

組合青年部部員の経営者としての資質向上と、業界における先進的な取り組みについて研究することを目的に事業を実施しました。

【研修会の様子】

具体的には、循環型社会を先取りしたゼロエミッションシステムの研究を目的に青森県への視察研修を実施した他、リサイクル事業の今後の展望や会計管理を強化等についての研修会を実施し、若手経営者の資質向上を図ることができました。

Ⅳ　首都圏攻略プロデュース事業

県内食料品関連業界の活性化を図ることを目的に、首都圏で売れる商品の開発から販売促進までを一貫して支援する『首都圏攻略プロデュース事業』を実施しました。

3年目となる平成24年度は、菓子工房エスポワール（藤里町）が開発した「白神そばプリン」が採択され、商品・パッケージ等の改良に関する支援を実施しました。また、戸越銀座銀六商店街（東京都）での販売、秋田空港ターミナルビル売店（秋田市）での試食販売会や「FOODEX JAPAN 2013」への出展を支援することで、新たな販路を開拓することができました。

Ⅴ　グループ創業バックアップ事業

平成24年度は、昨年に引き続き企業組合制度を活用したグループ創業を促進するため、創業塾を開催しました。創業塾では、延べ3日間に渡り創業前に必要な準備（事業コンセプトの作成、収支予算の設定、マーケティング手法等）や具体的な事業計画書の作成方法について学びました。（創業時に活用できる助成金や融資制度等を含む。）

先進事例として、企業組合の理事長から、創業時の体験や今後の展開等について話を伺いました。

参加者からは、実際に企業組合制度を活用した創業者の活動を目の辺りにしてますます創業意欲が高まるなど、大きな成果を収めることができました。

また、グループ創業の一環として秋田県の県魚であるハタハタの加工業者の組織化に対する支援を実施しました。

具体的には、ハタハタ加工業者による懇談会を3回開催し、業界団体としての組織化のメリットや必要性等について意見交換を行ったほか、先進事例の取り組みについて事例研究しました。

事業の成果として、中央会の継続的な支援を受けて発起人4名による発起人会が組織され、今後、組織化に向けて活動していくことにしております。

【ハタハタ加工業者による懇談会の様子】

Ⅵ　農商工連携人材育成スクール事業

中小企業者と農林漁業者等が連携した新商品開発や既存商品のブラッシュアップ、販路開拓等を支援するとともに人材のネットワーク構築を目的に事業を実施しました。

今年のスクールでは、商品開発力強化のための演習やグループディスカッションを中心とした実践的なカリキュラムで進めました。具体的には、競合商品との差別化を図り、他社商品より優れた商品とするするためのノウハウや考え方等について学び、参加者の中には、連携等による新商品開発に取り組んだ企業もみられ、今後のビジネスチャンスの拡大が期待されます。

【グループディスカッションの様子】

～事業を振り返って～

平成24年度は、各種事業の目的を概ね達成し、それぞれに大きな成果を得ることができました。なお、平成25年度においても、組合活力向上事業や青年部研究会事業などにおいて皆様方が使いやすいよう一部見直しを行うことにしておりますので、引き続きご活用ください。